

学校だより

プラタナス



令和4年2月28日(月)

市川市立市川小学校

No.32 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



一人一人が幸せでありたい！そのために…

2月はじめの朝会で、私が幸せと感じるときを4つ紹介しました。

①冬のまだ寒い時期に植物の新しい芽や小さな花のつぼみを見つけた時

②田んぼの畔道に、オオイヌノフグリやホトケノザなどを見つけた時

③よく晴れた真っ青な空の向こうに、雪をかぶった富士山がくっきり見えた時

④夕日が沈んだ後、紫色とオレンジ色が混ざったような、きれいな空が見えた時

というものです。これに加えるなら、明るい時間帯に温かい湯船に浸った時や就寝前にぼかぼかの布団に入った時でしょうか。これらは全部、主観的・個人的幸せなのですが、学校に関して言えば、児童・保護者・教職員にとって「幸せな学校」づくりが大きな目標です。今の幸せレベルはいくつか、何が足りないと感じるか、みんなに聞いてみたい気がします。

さて、アメリカのある研究によると、企業に勤める社員のうち幸せを感じている者の創造性は、幸せでない社員の3倍高いとされます。生産性や売り上げに至っては3割高という結果が残されており、幸せであることは個人の生き方だけでなく、経済活動にも影響しているというのでびっくりです。これは、そのまま学校における創造性や生産性にも当てはめられそうです。

この幸せは人それぞれの形がありますが、脳内で幸福物質が出されたときに幸せを感じるといいます。それが「セロトニン（健康の幸福物質）」「オキシトシン（つながりの幸福物質）」「ドーパミン（成功・お金の幸福物質）」の3つ。同じように、「幸福の4因子」を提唱するのが、慶応大学大学院教授の前野隆司氏です。

（1）「やってみよう」因子（自己実現と成長の因子）

自分の強みがあるか、その強みを活かしているか、よりよい自分になるために努力しているか など

（2）「ありがとう」因子（つながりと感謝の因子）

自分を大切に思ってくれる人がいるか、人生で感謝することがたくさんあるか、他者に親切にしたり手助けしたりしたいと思っているか

（3）「なんとかなる」因子（前向きと楽観の因子）

物事が思いどおりに行くと思っているか、学校や仕事での失敗や感情を引きずるか など

（4）「ありのままに」因子（独立と自分らしさの因子）

自分と他者を比較しがちかどうか、自分ができることやできないことは外的要因が強いと思うかどうか



これら4つの因子は、四つ葉のクローバーのようなもので、揃うことで幸せになれるといいますが、一般的にいわれる日本人の国民性とは逆のベクトルのように思えてしまいます。心配性で、自己肯定感も低く、皆と同じであることを好みます。でも、それでは幸福度が低くなりますよって言われているような気がします。社会全体で、学校全体で、クラスみんなが幸せになるためには、互いに声をかけあい、みんながいるから何とかかなりそうだと感じ、自分らしさを尊重してもらえる雰囲気的大事にしなければなりません。そのためにも、誰かに「ありがとう」ときちんとして感謝を伝えることから始めたいと思うのです。

<参考：パラサポ WEB>

寄せられた声の一部を紹介します

少し遅くなりましたが、12月に実施した第2回目の学校評価の自由記述欄に寄せられたご意見の一部を紹介・説明をさせていただきます。「今すぐできること」「時間をかければできること」「今はできないこと」などありますが、一つ一つ丁寧に対応していきたいと考えます。

紙面にご意見のすべてを掲載することはできませんが、教職員全員が目を通して、今後の指導・支援・対応の参考にさせていただきます。ありがとうございました。



【学校運営】

○1クラスの人数が多いため、4クラスにしてほしい。

➡ **国や県の基準によって1学級の最大児童数が決まっています。来年度は、3年生以下は35人学級(国基準)、4年生以上は38人学級(県基準)です。**

○教員の力量の差が大きいと感じる。相談時の対応や子供への接し方、連絡事項の漏れなど不安に感じることがある。個人の力量に頼るのではなく、組織としてフォロー・人材育成を考えてほしい。

➡ **初若年層の育成を含めて、学校全体でレベルアップ図れるように、見直しや研修等に努めます。**

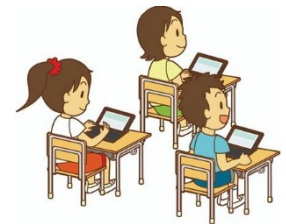
【コロナ対応関係】

○欠席した時に配付されるプリント類の受取やルールについて、どこかに記載して共有してほしい。また、メールまたは次の登校時に学習の進捗や宿題を教えてほしい。

○コロナ禍で参観等の保護者参加人数に制限があるが、日頃の様子等を動画で配信するなど、成長を確かめられるツールがあればよい。都合がつく時に見られる様になると嬉しい。

○オンライン授業への対応を行ってほしい。

➡ **オンラインの効果的な活用に向けて、一人1台のタブレット等をどう生かすか、どのような環境整備を図るか知恵を出し合います。まずは4年生以上で対応していきます。下学年においては、直接体験や人とかかわりによる五感を大切に学習が大事です。その中に、タブレットをどう位置づけることが効果的か考えていきます。**



【情報・ICT】

○紙の手紙を廃止し、オンラインやメールで対応してほしい。担任の先生への連絡手段の一つとしてメールも可能にしてもらえるとよい。

○時程表、毎月の予定表、学年だより等もホームページ・Webに掲載してほしい。

○学校だよりやブログなど、とても読み易くためになり、入ってきやすい内容や文章で、保護者だけではなく、子どもも積極的に読んでもらいたい。ルビをふって配付してくれたらと思う。

○もっと学校独自のブログなどで毎日なように様子を配信してほしい。HPも見づらいと感じる。

➡ **ニーズに応じた対応を検討します。誰もが気軽にかつ簡単に閲覧できる方法を模索していきます。**

○タブレットを使用した授業を参観したが、グループワークの工夫や子供達の順応性に凄く驚いた。また疑問点にも、担任の先生がすぐに対応していて、感謝と安心を感じた。

○下校が一人なので、不審者情報が助かる。

【学校行事】

○授業参観2回とも教室以外での授業を見学した。教室での様子を見学したかった。

○室内での授業参観は、今年度のように少人数ずつだと落ち着いて参加できる。



○コロナ禍なのはわかるが、イベントの開催に消極的なのはとても残念。

○運動会は、観覧は保護者2名までOKにしてほしい。また、感染対策で親1人参観は中途半端。

➡ 児童数や活動スペースの関係で、制限を設けたり実施を断念したりせざるを得ない場合があります。多くの方々に参観いただきたいと願ってもできないことがあります。児童と保護者、教職員の健康と安全、ひいては命を一番に考えて判断します。ご理解いただけるよう丁寧に説明します。

○行事や先生方の研修のためと短縮授業が多く、授業時間は適切に確保されているか心配。周辺の学校より授業内容に遅れもあるように聞く。

➡ 国の標準授業時数に十分な余剰時数を加えて、年間計画を立てています。突発的な学級閉鎖の場合や発展的な学習に取り組む場合などを視野に入れた対応です。教科横断的に学習を組み立てる場合もあるため、授業の進度は他校との比較対象ではないと考えます。

【保健・安全・体力】

○子供たちの使用するトイレが臭くて汚いと学校のトイレに入らなくなった。嫌だからと我慢をして帰ってくる。先生か外注あるいは改装をお願いしたい。

○コロナが流行した際には、給食のみならず、掃除のあり方についても考慮していただきたい。

➡ 校舎建替計画により大規模改修は望めませんので、トイレ掃除ボランティアをお願いできる方がいらっしゃればご連絡くださるとうれしい限りです。

○朝、14号門前の信号待ちで子どもが広がって危ないと感じる。当番がコーンを設置する等必要。

○保護者が学校に入る際は名札着用だが、誰でも入れる状況にある。また、研究授業等で児童だけになる時間があり、門は登下校時間以外も施錠されていない。もう少し防犯対策に配慮してほしい。

➡ 児童の在校時間帯の防犯対策の第一は、門扉と昇降口の扉です。確実に閉じて関係者以外が侵入する言い訳を作らないことです。防犯カメラによる見守り、来校者への声かけも行っています。

○登校時間が早すぎる子がいて心配に感じる。7:50からの登校時間帯を周知徹底してほしい。

➡ 来年度の登校時間は8:15~として、授業開始を8:40と考えています。ご協力ください。

○昼休みに外に行けない日があり、ストレスが溜まると言う。外で遊ばせてほしい。

➡ 長い休み時間に校庭に全児童が集中して、密になったりけがの原因になったりしないように分割した今年度。昼休みを業間時間と同様の対応をすると、下校時刻20分以上遅れることを考えた対応です。

【生徒指導】



○体育の着替えについて、男女別室にするなどのタイミングを何年生からなのか明確に決めてほしい。別室か同室かではなく、同じ室内でも前後で離すことやタイミングなど、何かしらの配慮をしてほしい。担任によりけりではなく、学校の方針であってほしい。

○体操時の下着未着用は今も継続しているのか？撤廃しても問題ないと思う。

➡ 銭湯の男湯女湯に入れる年齢の基準が打ち出される中、着替えへの配慮も欠かせません。残念ながら余裕教室がありませんが、目安を検討する必要があります。肌着を着用したら、それも着替えます。

○決まり事などが曖昧。例えば、休み時間に他クラスへの移動はしてよいのか、席替えのやり方、衛生・安全の為の約束事、いじめに繋がらないような環境づくりに関する決まり事など。

○自分の意見を自由に発言できる場、雰囲気が少ないように感じる。また、子供たちが決まり事を守らなくてはいけないと思う気持ちが強い。それ自体はよい事であるが…。

○校庭で走ってはいけない場所の改善を求めたい。

➡ 元気かつ楽しそうに走り回る児童の姿は微笑ましい限りです。しかし、狭いがゆえに人が交錯したり設置物と衝突したりするけがは今年度も絶えません。仕方なく活動制限をしている状況です。

○交通当番で挨拶しても、挨拶を返さない子がいるとガッカリしてしまう。

【学習】

○わが子は「正解は1つ。それ以外は間違い」と思い込んでいるところがある。家庭でも意識して思い込みをとくよう接していきたいが、学校（社会）の力は大きいので、学校でも「いろんな方法があるんだよ。人によっても正解は違うよ」という風土をより強化してもらえたらうれしい。

➡ 友達や外部指導者など人との交流を通して学ぶ機会を含め、これからも様々な取り組みを続けます。

【その他】

○校庭を開放してほしい。逆上がりの練習をさせたい。怪我しても学校の責任にはしない。

○割烹着が古く、肩や襟が擦り切れて繕ってある。清潔感にも欠ける。買い替えを検討してほしい。

○学校に忘れ物した時は、土日に取りに行っても良いのか？

➡ 土日祝日および学校閉庁日は、職員の対応ができません。

○知る術がない場合、「分からない」という選択肢がなく、「あまりそう思わない」と回答した。

➡ 4通りの回答(選択肢)のほか、その右側に「わからない」という回答欄を本校独自に設けています。

○課外授業、宿泊学習など、子供の成長につながる。コロナ禍での先生方の尽力・熱意に感謝する。

○個人面談の際に、担任の先生が親の言葉に耳を傾け、子どもの個性を理解し、対応しようとしてくださる姿勢を嬉しく思った。親として、安心して学校や担任に相談ができるのでありがたい。

○クラス経営や授業の中で色々な工夫をして下さっているようで、子供はそれを楽しんでいる。

【令和4年度 年間主要行事予定】

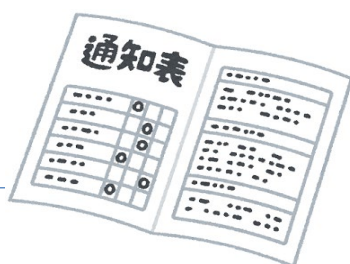
■始業式	4月 7日(木)
■入学式	4月 8日(金)
■給食開始	4月11日(月) ※1年は4/15
■学級懇談会	4月27日(水)
■運動会	5月28日(土) AM
■授業参観	7月 1日(金)
■5年林間学校	7月13日(水) ※山梨方面一泊
■6年修学旅行	10月25日(火)



【教育課程】

次のことについても検討しています。

- ▼登校時刻
- ▼通知表の記載内容
- ▼諸活動の実施時期



- 1 主 催 小中体連市川浦安野球専門部(共催 千葉ロッテマリーンズ)
- 2 開催日時 令和四年三月二十日(日) 十時～十六時
- 3 開催場所 浦安市運動公園野球場(雨天の場合は、浦安市立見明川中学校)
- 4 主な内容 ①ストラックアウト ②遠投コンテスト ③ホームラン王は誰だ! 他

★校長室前の掲示版に掲示してあります。参加費無料で、予約も不要です。

第一回 市川浦安 baseball フェスタ開催

野球の楽しさや素晴らしさ、体を動かすことの重要性等を野球経験の有無に関わらず多くの子ども達に伝えることにより、野球に親しみ興味を抱いてもらうこと。また、生徒の「思いやりの心」の育成、子ども達の「憧れ・夢」の設定、千葉県野球界全体の発展・活性化の一助とするため、野球の魅力に触れる機会を与えてくれます。